



新学期が始まって1週間になります。雨の予報の日には傘を持ってくる子も。おうちの方が教えてくださったのでしょうか。ありがたいです。

一番大切なことは“止まる”こと

～交通安全教室～

12日(火)に、種市交番所の方や交通指導員さんをお願いして交通安全教室を行いました。その中では、歩くときも自転車に乗るときも大切なのは「止まること」だと教わりました。曲がり角で止まらなければ左右から来た車や人とぶつかります。これは、歩いていても自転車に乗っていても同じことです。また、自転車で人にぶつかった相手の人がけがをしたり、もしくは亡くなることもあるということも教わりました。外に出たり自転車に乗ったりするのは楽しいことですが、安全のためには「止まる」を心掛けたいです。

<自転車点検のキーワード>

ぶ・・・㊦レーキ
た・・・㊧イヤ
は・・・㊨ンドル
しゃ・・・㊩ゃたい
べる・・・㊪る

自転車乗りの範囲

自転車乗りについては、各家庭で自転車の点検をしてから始めるようお願いします。これまで統合前の旧学区(種市、平内、城内、大和)の範囲で自転車乗りをしてもよいことになっていましたが、ちょっと広いのではないかと心配しています。学校では、下記のような範囲が妥当なところ(よい範囲)ではないかと考え、今度、PTA総会でも“推奨”したいと考えています。おうちによっては、「うちの子はまだ上手でないので、もっと狭

低学年…子どもだけで乗って遊びに行かない
中学年…子ども会の範囲内
高学年…旧学区内

い範囲にします。」ということもあるでしょう。大事なことは、おうちで子どもの乗り方を見ていただき、ルールや安全についても確認していただくことだと考えます。

自分の力で歩けること

1・2年生は実際に歩く練習でした。交通指導員さん達も教えてくださいますが、「教えられる前に止まることのできたらいいですね。」「教えられる前に手をあげられたらいいですね。」と言って送り出しました。いつも横断歩道に大人がいてくれるわけではありません。自分でできるように練習しなければなりません。ですから、大人は、「渡らせてあげる」のではなく「自分でできるか見ていて、できないときに教える」ということが大切ではないかと考え、毎年お願いしています。

全校朝会でも安全の話をしました

朝、校門のところに立っていると、大きい子が1年生に教えながら歩いてくのが見えます。「車がくるよ。止まって!」「手をあげよう。」そう教えながら歩いてきます。道路を渡ってから車の運転手さんにお辞儀をすると、1年生も真似をしてお辞儀をしていました。よい光景です。思わず「えらいですね」と言いました。偉いのは、1年生だけではありません。教えた上級生も偉いと思ったのでした。

1年生は教えられたことを守ります。また、大きい子がやったことを真似しようと、目を大きく見開いて見えています。危ないことをなくしなければいけません。そして、している人がいたら「やめよう」と声をかけてあげなければいけません。せっかく、うれしい春がきたのですから。そしてせっかく新学期が始まったのですから。みんなで教え合って、危ないことをなくしていきましょう。

登校時の車の乗り入れについて

朝の登校時の、子どもの安全についてのお願いです。やむを得ず子どもを送って車で入って来られるときには、下の図のように、**駐車場の手前で**子どもを降ろすようにお願いします。

駐車場に駐車して子どもだけ降ろすのはやめてください。(図の「危険1・2」)
＜駐車場の手前で降ろすようお願いします＞

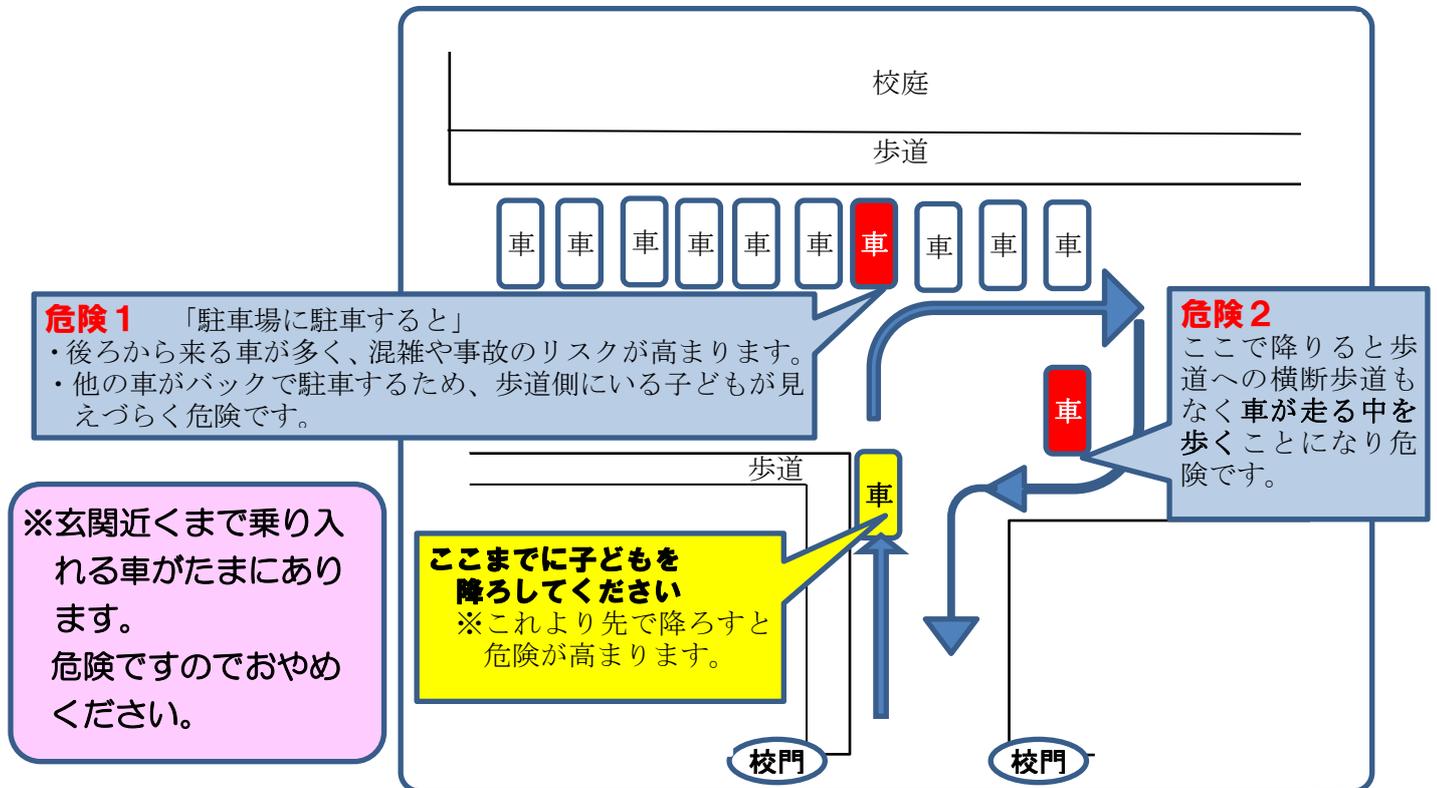
「危険1」校庭側駐車場

- ・他の車がバックで駐車するため、歩道側にいる子どもが見えづらく危険だと思われます。
- ・駐車場から出る際も、後ろから来る車が多く、混雑や事故のリスクが高まります。

「危険2」スクールバス駐車場

- ・降りた後、歩道への横断歩道もなく、車が走る中を歩くことになって危険です。

※学校に用事があって駐車場に停めた場合は、おうちの方が子どもと校舎まで一緒に来てくださるようお願いいたします



付け足し 下校時の迎えについて

下校時の迎えも、駐車場に車まで子どもが走って行って危険な場面をすでに見かけています。次の点について、ご不便をおかけしますが、子ども達の安全のためによりしくお願いします。

- ・車は駐車場におくようお願いします。(玄関前駐車場は使わないください)
※玄関前駐車場は、障がいのある方や緊急車両のためのものです。また、スクールバスが切り返す場所にもなっていますので、送り迎えで駐車しないようにご協力をお願いします。
- ・車の中で待たないで、玄関まで迎えに来てくださるようお願いします。(車が出入りする中で、子どもが駐車場内や校庭側歩道を車に向かって走っていくので危険です。)

おうちによっては、おじいさんやおばあさんが迎えに来られるところもあります。ぜひ、お伝えいただいて、子ども達の安全を守っていきたいです。よろしくお願いします。